

12月に第7回ダナン都市開発フォーラムを開催しました。

Batam(1月)、横浜市内ワークショップ(2月)、セブ(3月)でのビジネスマッチングを予定。
 ～海外都市・企業に横浜発都市ソリューションを提案します。～

横浜市 Y-PORT 事業では、市内企業と連携しながら海外都市等でのインフラ事業や環境改善事業の形成に取り組んでいます。本年度の横浜発都市ソリューション検討では、ベトナム国ダナン市、インドネシア国 Batam 市、フィリピン国セブ市の3都市を対象として、各都市への提案を行っています。提案内容は、「横浜発都市ソリューション分科会」等において企業の皆様と共に検討を進めています。ダナン市における都市開発フォーラムの開催結果と今後の予定についてご紹介しますので、今後の取組に是非ご参加ください。

①横浜発都市ソリューションの仮説立案	②企業との都市ソリューション構想の共創	③都市ソリューション構想の各都市への提案・対話	④現地調査を踏まえた横浜発都市ソリューションのとりまとめ
～12月中旬	12月： Batam, ダナン 2月：セブ	12月：ダナン 1月：Batam 3月：セブ	～3月

本年度事業の検討ステップ・時期

1. 第7回ダナン都市開発フォーラムの開催報告 (12月22日)

横浜市内企業の皆様を中心に 19 社、31 名の方に参加いただき、2017 年 12 月 21 日に現地合同調査を、22 日に第 7 回ダナン都市開発フォーラムを開催しました。以下に実施結果についてご報告します。

(1) 第7回ダナン都市開発フォーラムでの議論

第7回都市開発フォーラムでは、ダナン市政府関係者、横浜市役所関係者、開発援助機関及び民間企業の参加を得て、主に4つのテーマ(省エネ、工業団地開発、廃棄物、漁港再開発)を中心に、参加者からの発表及び活発な意見交換が行われました。

ダナン都市開発フォーラム 開催概要

日程：2017年12月22日(金) 8:30-16:30

<参加機関>

ダナン市:人民委員会、投資計画局、天然資源環境局、建設局、産業貿易局、農業地域開発局、気候変動対策調整室、工業団地管理委員会

横浜市:国際局、環境創造局、資源循環局

開発援助機関・国際機関:国際協力機構(JICA)、世界銀行、アジア開発銀行(ADB)、国際金融公社(IFC)

民間企業・団体:旭硝子(株)、カーボンフリーコンサルティング(株)、フォスター電機(株)、(公社)日本交通計画協会、JFE エンジニアリング(株)、JFE 環境(株)、日揮(株)、(株)JVC ケンウッド、(株)環境創生科学研究所、(株)マクニカ、三菱重工業株、日本電気(株)、日本工営(株)、(株)オオスミ、(株)三井住友銀行、武松商事(株)、横浜ウォーター(株)

事務局企業等(委託事業者):(株)三菱総合研究所、Y-PORT センター専門家(パシフィックコンサルタンツ(株))



各セッションでは以下の成果がありました。

① 省エネ：環境配慮型ビル

ダナン市建設局(DOC)、ダナン市気候変動対策調整室(CCCO)、Accor グループ(ホテル事業展開企業)からの当地の建築物の整備状況や気候変動対策についての紹介を受けて、横浜側からダナ

ンでの JICA 実証事業の実績や建築物の省エネ施策等の事業案を提案しました。

(成果) ダナンにおける省エネ取組を推進するために、民間施設(ホテル等)への省エネ施設の導入についての JCM プロジェクトの案件形成に向け、横浜企業で具体的提案をまとめることでダナン側と連携してくこととなりました。その際ダナンにオフィスを開設予定の(株)オオスミが提案事業の取りまとめ役となることが双方から期待されています。また、IFC が実施しているビル省エネに関する取組について協議を継続することが合意されました。



(株)オオスミからの発表

② 地区開発：新工業団地の整備

ダナン市工業団地管理委員会より、工業団地の整備計画について、フォスター電機(株)(ダナン日本商工会)より、既にダナンの工業団地で操業を行っている企業を代表して発表が行われました。横浜市から、新たな工業団地開発を含めた都市の競争力の向上について議題を提起し、これを受けて、都市交通の強化策として、横浜市内に導入されている横浜シーサイドラインの実績に基づく提案や、近年都市行政においても導入が進む ICT の活用事例として防災マネジメントシステムの提案が行われました。

(成果) 工業団地開発にあたっては、快適な居住エリアや、交通アクセスなど、従業員にとっての働きやすさ、災害への強靱性の確保などの付加価

値が、入居企業の誘致に重要であることが合意されました。この視点で、横浜市の得意とする住宅地開発、AGT の導入や、防災システムの導入にむけて引き続き協力を進めることとなりました。



(公社)日本交通計画協会・日本電気(株)からの発表

③ 廃棄物分野：JICA 草の根技術協力事業及び廃棄物処理拠点整備事業について

ダナン市天然資源環境局(DONRE)、横浜市資源循環局より、両市が協力して実施している分別収集及びリサイクルについての JICA 草の根技術協力事業について発表がありました。また、横浜市や市内企業から、ダナン市が ADB の協力のもとで進めている廃棄物処理施設の新設事業に関して、分別リサイクルの徹底によって新設事業にかかるコストの最小化に努めることや、既存最終処分場の環境課題の要因の一つになっている汚泥処理技術も取り入れるべきとの提案を行いました。

(成果) 両市間の協力の中で JICA 草の根事業及び廃棄物処理施設の新設事業について、継続的に協議を重ねていくことをダナン人民委員会や JICA ベトナム事務所、ADB 出席のフォーラムで確認されたことに意義があったと考えます。

さらに、汚泥処理について横浜市環境創造局や市内企業から具体的な事例及び技術紹介を行ったことで、都市間での適性な汚泥処理の実現に向けた協力がスタートしました。



JFE エンジニアリング(株)からの発表

④ 地区開発：Tho Quang の再開発計画について

ダナン市農業地域開発局より Tho Quang 漁港地域における開発の現状について発表があり、それに対して Y-PORT インフラ専門家より、同地区における開発コンセプトと漁港の付加価値向上のための提案を行いました。

(成果) Tho Quang 地域におけるマスタープランの策定のための調査事業について、日本政府の支援を得るための提案を両市で協力して実施することが合意されました。



Y-PORT 専門家からの発表

(2) 全体の成果

フォーラムでは、下記のような成果が得られました。今後フォーラムにおけるダナン市及び参加機関との合意を元に取り組を進めていきます。

① ソリューション検討分科会の議論を基にソリューション提案・プロジェクト化の推進

12月5日に開催した第1回横浜発都市ソリュ

ーション検討分科会において、省エネ、廃棄物、地区開発の各分野に関する企業の皆様との議論を踏まえたコンセプト、ソリューションの提案を行いました。その結果、省エネ分野、地区開発分野についてダナン市と連携してプロジェクト化を進めることに同意を得ました。

② 海外ドナーとの連携の推進

JICA、世界銀行、ADB 及び IFC の参加を得ることで、各機関の有する支援プログラムに関する情報交換が行われました。これらの機関と連携して、新たな案件に取り組むことが確認されました。

③ 新たな分野の開拓

フォーラムでは、上述の4分野以外のテーマとして医療、介護士人材育成、行政システム、防災等の新たなテーマについても、連携を始めることが確認されました。

(3) 現地調査 (12月21日)

ダナン市の所管局の案内のもとで参加者による合同調査を行いました。

<訪問先>

- ・ データセンター
- ・ Tho Quang 漁港・工業団地 (シーフードサービス工業団地)
- ・ ハイテクパーク
- ・ IT パーク・Hoa Ninh 工業団地・Hoa Nonh 工業団地
- ・ Khanh Sonh 埋立処分場・廃棄物発電施設建設予定地 (Hoa Nhon)
- ・ グリーンビルプロジェクトを実施しているホテル



現地調査の様子 (食品工場の排水施設)

2. インドネシア・バタムにおけるビジネスマッチング（1月24日-25日）への参加企業の募集

横浜市と都市づくりに関する覚書を締結しているバタム市/インドネシア国にて、1月24日(水)にバタム市インフラ施設の調査、25日(木)にビジネスマッチングセミナーを開催します。

バタム市においては、すでに横浜市や市内企業が参加のもとで具体的な事業の実現可能性調査が進んでいる案件もございます。本企画では、これらの実施中の事業と連携しながら、更なる案件の創出にむけて、現地調査およびビジネスマッチングを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

■バタム市ビジネスマッチング

日程：

1月24日(水) 現地合同調査

1月25日(木) ビジネスマッチングセミナー

場所：インドネシア国バタム市

参加費：渡航費、滞在費、海外旅行保険費用等は各事業者のご負担となります

※詳細について横浜市国際局 Y-PORT 事業ウェブサイトをご覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/20180124-25batam.html>

3. メトロセブでのビジネスマッチングに向けた Y-PORT ワークショップを横浜市内で開催します（参加企業を募集）

3月の前半に開催予定のメトロセブにおけるビジネスマッチングにおいて提案する横浜発都市ソリューションについて、関心をお持ちの企業の皆様とテーマ別の議論を行うためのワークショップを開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

■第24回 Y-PORT ワークショップ

日時：平成30年2月9日（金）14:00～

場所：パシフィコ横浜国際協力センター6F 会議室

・フィリピン・メトロセブにおける合同調査・ビジネスマッチングの機会に提案する「横浜発都市ソリューション」のパッケージを企業の皆様との議論を通して作成します。

・以下のテーマについて、グループに分かれて議論を行い、最終的に提案の素案となる「都市ソリューション構想」を作成します。

＜グループディスカッションテーマ＞

テーマ①：廃棄物・リサイクル分野

テーマ②：グリーンビルディング(省エネ・再生水等)

テーマ③：その他(ICT 技術の活用や防災・交通マネジメント/新交通システム等、企業の皆様からの提案を歓迎します。)

※詳細について横浜市国際局 Y-PORT 事業ウェブサイトをご覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/yport/yportworkshop.html>

■申込み先：横浜市国際協力課

ki-yport@city.yokohama.jp 宛に下記の内容を記載の上、電子メールを送信ください。

- (1)会社名
- (2)所属
- (3)氏名・役職
- (4)参加を希望するテーマ①～③のいずれか1つ
③の場合は具体的な分野をご提案ください。
- (5)フィリピン・セブ合同調査への参加予定の有無

本調査にご関心のある企業の皆様は、Y-PORT センター事務局または委託先企業にお問い合わせ下さい。

横浜市国際局国際協力課
〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8
関内新井ビル 3階
Tel: 045-671-4396 Fax: 045-664-7145
E-mail: ki-yport@city.yokohama.jp

(株)三菱総合研究所環境・エネルギー事業本部
担当：遠藤、新井、岩田
〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3
(部署代表) :03-6705-6032 FAX: 03-5157-2146
e-mail: t.endo@mri.co.jp